

第5学年 学活 略案

1 日時 令和 年 月 日 ()

2 学年・組 5年

3 題材名 「My 集中力 UP グッズを探そう～お互いのことを理解しよう～」(学活2)

4 本時の目標

- ・困ったときの対象方法を自分なりに考える。
- ・自分や友達が集中しやすいものを知り、お互いの違いについて理解を深める。

5 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点
事前	0 事前にワークシート「1自分のことふりかえろう」の2か所を記入しておくと導入がスムーズに進行できる。	どのようにそれを乗り越えているのか自分なりの方法を振り返る
導入	<p>I 授業の時に困っていることを確認する。</p> <p>発問：「授業中に困っていることはありますか？」</p> <p>「授業中に眠くなってしまう」</p> <p>「体を動かしたくなる」</p> <p>「上履きをしっかりはいて授業することが難しい」など</p> <p>2 自分だったらどうするか考える。</p> <p>発問：「たくさん困っていることが出てきたよね。それぞれ、自分だったらどうしていますか。」</p> <ul style="list-style-type: none">・出てきた困り感に出くわしたとき、自分だったらどうしているのか考える。クロムを使用する。 <p>クロムの回答の仕方（例） 「〇〇に困ってしまったとき」 →「私は〇〇をすることで問題を解決しています。」</p> <p>3 友達が書いたことを確認する。</p>	みんなで見合うことを確認してからオクリンクまたはオクリンクプラスに入力する。 板書していく 板書していく

	<ul style="list-style-type: none"> ・眠くなる→水を飲む ・体を動かしたくなる→伸びをする <p>4 気づきを発表する。</p> <p>発問：「何か気づいたことや感想はありますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分も使えそう」 ・「いろいろな方法を知ることができた。」 ・「試してみたい！」 ・「〇〇さんが困っているの初めて知った。」 	<p>数名指名して板書する</p> <p>みんなの回答を見てどう感じたかを発表する</p>
展開	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>My 集中力 UP グッズを探そう</p> <p>～お互いのことを理解しよう～</p> </div> <p>5 授業力集中グッズに触れたり試したりする。</p> <p>例：イヤーマフ、バランスボール、小ボール、握るグッズ、足のマッサージ足つぼ、パーテーション、ビーンズクッション、いろんな椅子、ステッパー、立って勉強</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グッズを次のグループに回していく。 <p>6 「どんな場面で何を使ってみたいか」をワークシートに記入。</p> <p>7 感想+ワークシートに記入したことを発表（数名）</p>	<p>グループを作ってグッズを回していく。</p> <p>グループは1～2分ずつ</p>
まとめ	<p>○まとめ</p> <p>1週間お試し期間を通して、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分への気づき ・友達への気づき 	

を意識しながら使ってほしい。

1週間後に振り返りをすることを予告して終了とする。

必要物品：ワークシート、班の数に応じた分のグッズ（イヤーマフ、バランスボール、小ボール、握るグッズ、足のマッサージ足つぼ、パーテーション）、クロムブックを準備させる

※ 事前にワークシート1を記入しておくとグッズを触る時間を確保できる。